

その他の
プログラム



● ゲストトーク

映像プログラムでは、上映会にあわせて
ゲストトークを実施します。

● アフタートーク

パフォーマンスの終演後にアーティ
ストによるアフタートークを実施します。

● フロアトーク

8/11(木・祝)~13(土)に、
各会場にて国際展参加
アーティストが出品作品
を前に語るフロアトークを
実施予定です。

● コレクティブ・アジア・オキュパイ / 生存権 / ユーモア

コラムプロジェクト「コレクティブ・アジア・オキュパイ / 生存権 / ユーモア」では、
会期中の毎週水曜日19:30 にレクチャーを行います。
○詳細は、あいちトリエンナーレ公式Webサイト [http://aichitriennale.jp/] (後日発表) をご覧ください。

期間中随時、各30分程度

ACCESS

名古屋

愛知芸術文化センター

- 1 12階アートのスペース A
- 2 8階ライブラリー
- 3 8階プラットフォーム

名古屋市中区東栄1-13-2
○地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車、徒歩3分
○名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

4 名古屋市美術館 2階講堂

名古屋市中区栄2-17-25 (芸術と科学の杜・白川公園内)
○地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車、徒歩8分
○地下鉄名城線「矢場町」駅下車、徒歩10分



豊橋

5 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 B

豊橋市西小田原町123
○JR東海道本線・名鉄名古屋本線「豊橋」駅、
豊橋鉄道渥美線「新豊橋」駅直結。豊橋駅南口から徒歩3分

6 開発ビル 6階会議室

豊橋市駅前大通2-33-1
○JR東海道本線・名鉄名古屋本線「豊橋」駅東口から徒歩4分



岡崎

7 図書館交流プラザらびら

岡崎市康生通西4-71
○名鉄名古屋本線「東岡崎」駅より徒歩20分
○名鉄バス「岡崎拠点快速バス(岡崎駅・市民病院線)」または
「日名町行き(魚町・康生町経由)」で「図書館交流プラザ」停下車

8 岡崎シビック 2階催事場

岡崎市康生通西2-20-2
○名鉄名古屋本線「東岡崎」駅下車、徒歩13分

9 石原邸

岡崎市六供町杉本70
○名鉄名古屋本線「東岡崎」駅下車、徒歩17分



●フィールドワークは、あいちトリエンナーレ公式Webサイト
[http://aichitriennale.jp/] のエデュケーションのページから
申込フォームにて申込んでください。多数の場合抽選となります。
※迷惑メール設定をしている方は geijutsusai@pref.aichi.lg.jp からのメールを受信できるようにご設定ください。

受付期間：7月14日から受付を開始します。

申込め切:	当落通知時期	
10月1日までのプログラム	8月19日(金) 17:00	8月24日頃
10月2日以降のプログラム	9月16日(金) 17:00	9月21日頃

※参加決定者にはプログラムの詳細をお知らせします。※プログラムの内容は予告なく変更する場合があります。

※申込不要のプログラムは、各開始時間の30分前から受付を開始します。なお、
受付は先着順に行い、定員に達した場合は、入場をお断りする場合がございます。
※スピーカーとして登壇するキュレーター等は、都合により変更となる場合がございます。

主催：あいちトリエンナーレ実行委員会

問合せ先：あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

「エデュケーションプログラム申込係」

愛知県名古屋市中区東栄1-13-2 愛知芸術文化センター 6階
TEL:052-971-6111

aichitriennale.jp

Lecture Programs



あいちトリエンナーレ 2016

レクチャープログラム
Lecture Programs

トリエンナーレは3年ごとに開かれるアートの祭典。
世界最先端の美術、映像、音楽、ダンス、オペラなどが愛知に集結します。
このリーフレットでは、「あいちトリエンナーレ2016」をより楽しむための
レクチャープログラムをご紹介します。

参加アーティストや専門家など、さまざまな分野の人々がプログラムに集い、
語り合う様子は、まさに砂漠の旅人が集う「キャラヴァンサライ」。
アートとの出会いや新たな発見を楽しめる
レクチャープログラムにぜひご参加ください。

シンポジウム

芸術監督やキュレーター、参加アーティスト、専門家がパネリストとして登壇し、
各テーマについて議論を展開します。

アーティストトーク

参加アーティストが今回の出品作品やそのプロセス、
コンセプトや問題意識などについてじっくり語ります。

レクチャー

分野を超えた専門家が登壇し、さまざまな角度からアートやトリエンナーレの魅力に迫ります。
芸術監督やキュレーター、エドゥケーターとの対談形式のプログラムもあります。

ディスカッション

専門家によるレクチャーの後、参加者を交えて問題点について話し合う、
双方向型のプログラムです。

フィールドワーク

まちの歴史や風景に潜む魅力を、まち歩きを通して発見していきます。

全プログラム参加費無料

事前申込不要 (フィールドワークを除く)

あいちトリエンナーレ2016

レクチャープログラム



名古屋 豊橋 岡崎 全プログラム参加費無料

※プログラムの追加など、開催内容を変更する場合があります。

詳細は、あいちトリエンナーレ公式Webサイト [http://aichitriennale.jp/] をご覧ください。

8/12(金) 13:00-16:15	シンポジウム 岡崎 7
	トランスディメンションーイメージの未来形 [第1部] 13:00-14:30 パネリスト：港千尋（あいちトリエンナーレ2016芸術監督）、勝又公仁彦（コラムプロジェクト「トランスディメンションーイメージの未来形」参加アーティスト） モデレーター：後藤繁雄（同プロジェクトディレクター） [第2部] 14:45-16:15 パネリスト：横田大輔、小山泰介、赤石隆明（以上、同プロジェクト参加アーティスト） モデレーター：後藤繁雄（同プロジェクトディレクター） 定員：200名 共催：あいちトリエンナーレ2016岡崎会場実行委員会 同プロジェクトディレクターの後藤繁雄と参加アーティストが、写真表現のいまとその可能性を探ります。
17:00-19:00	アーティストトーク 岡崎 7
	シュレヤス・カルレ （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名、英語（逐次通訳あり） 共催：あいちトリエンナーレ2016岡崎会場実行委員会 インドにてアーティスト活動と並行しアートスペースCONAを営むシュレヤス・カルレが、自作やCONAについて語ります。

8/13(土) 11:00-13:00	レクチャー 名古屋 3
	沖縄ーソウル：アジア／アート／女性の視点から自作を語る スピーカー：山城知佳子×ソン・サンヒ（ともにあいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト）×趙純恵（同国際展アシスタントキュレーター） 定員：60名、韓国語（逐次通訳あり） アジアの近現代史を軸に、特定の地域とそこに生きた人間の様相に焦点をあてながら活動する二人のアーティストによるトークセッション。
15:30-17:30	アーティストトーク 豊橋 6
	グリナラ・カスマリエワ&ムラトベック・ジュマリエフ （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名、英語（逐次通訳あり） グローバル化の影響を受け市民生活が激変する中央アジア・キルギスの様子を、シルクロードの現在を記録することで伝えるアーティストユニットによるトーク。
18:30-20:30	アーティストトーク 豊橋 6
	ヨルネル・マルティネス （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名、スペイン語（逐次通訳あり） キューバを拠点に、ドローイングからインスタレーションまで、制作を通して他者との協同を進めるアーティストが、自作について語ります。

8/14(日) 11:00-12:30	アーティストトーク 名古屋 3
	タロイ・ハヴィニ （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名、英語（逐次通訳あり） パプアニューギニア、オーストラリアを拠点に、先住民文化から継承された知の体系をベースに制作するアーティストが、自作について語ります。

8/14(日) 14:00-18:00	シンポジウム 名古屋 1
	オープニングシンポジウム「旅・創造・共同体」 パネリスト：港千尋（あいちトリエンナーレ2016芸術監督）、拝戸雅彦（同国際展チーフ・キュレーター）、ダニエラ・カストロ、服部浩之、金井直、ゼイネップ・オズ（以上、同国際展キュレーター） ゲスト：あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト（予定） 定員：180名、日本語・英語（同時通訳あり） 今回のテーマである旅、創造の視点から薄きだされる「共同体」のあり方に、それぞれの立場と背景を織り交ぜながら迫ります。

8/15(月) 14:00-16:00	アーティストトーク 名古屋 3
	松原慈 （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名 写真、音、テキスト、光の現象など多様な要素を独自の物語により接続し、豊かな空間を築く松原慈が自作について語ります。

8/21(日) 13:30-16:30	シンポジウム 名古屋 4
	言葉の記録 日本現代美術のオーラル・ヒストリーー80年代後半から90年代前半の名古屋のアートシーンをめぐってー スピーカー：加治屋健司（東京大学准教授）、庄司達（造形作家）、島教彦（愛知県美術館館長）、高橋綾子（名古屋芸術大学教授） 定員：180名 当時の関係者へのインタビューから文献にはない歴史を捉える「オーラル・ヒストリー」を通して、名古屋のアートシーンを振り返ります。

8/27(土) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 3
	ビクトル・ダミコのアートティーチング・トイー動機づけの原理ー スピーカー：前田ちま子（名古屋芸術大学名誉教授）×松村淳子（あいちトリエンナーレ2016エデュケーター） 定員：60名 ビクトル・ダミコ※考案のアートティーチング・トイが視覚や触覚、運動感覚を刺激するしくみを探ります。 ※ニューヨーク近代美術館初代教育部長

8/28(日) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 3
	アートに音を視る スピーカー：小沼純一（早稲田大学文学学術院教授）×港千尋（あいちトリエンナーレ2016芸術監督） 定員：60名 虹の7色は音階からきていると言われていています。アートとサウンドの創造的関係をトリエンナーレに探ります。

9/2(金) 18:00-20:00	ディスカッション 名古屋 3
	芸術祭における人材育成と雇用を考えるーレクチャー&ディスカッションー スピーカー：吉澤弥生（共立女子大学准教授）×石崎尚（愛知県美術館学芸員） 定員：60名 労働、政策、運動、地域という視点から現代芸術を考える研究者と、芸術祭に関わる人々の雇用問題を考えます。

9/3(土) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 2
	美術の世界へようこそ！ー歴史を旅するボードゲームで遊ぶー 講師：山中麻未（ゲームデザイナー） 定員：30名 歴史上の出来事や実在の作品に取材し、美術教育のためのツールとして制作されたゲームについて、デザイナーによるトークと試遊を行います。

14:00-15:30	アーティストトーク 名古屋 4
	岡部昌生 （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：180名 記憶や痕跡をテーマにしたフロッターージュ（物の上に紙を置き、鉛筆や木炭で写し取る技法）作品で知られる岡部昌生が、自作について語ります。

9/4(日) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 3
	シルクロードにおける文化遺産の危機と保護：シリア・イラクを中心に スピーカー：西山伸一（中部大学准教授）×港千尋（あいちトリエンナーレ2016芸術監督） 定員：60名 シリア内戦などによりシルクロード上の、特に西アジアの文化遺産が危機的状況にある今、その現状と保護について研究者が語ります。

9/10(土) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 3
	浅野祥雲ーB級と文化・美術のはざまでー スピーカー：大竹敏之（ライター）×中村史子（愛知県美術館学芸員） 定員：60名 浅野祥雲が残したコンクリート像を通して、B級スポットと文化・美術を隔ているものは何かを考えます。

9/11(日) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 2
	展示照明のワークショップ 講師：伊藤啓太（舞台照明／ゲーム開発） 定員：30名 展示照明に関するトークと、さまざまな照明効果を用いたワークショップにより、光を通して作品を「みる」ことのつながりについて考えていきます。
14:00-15:30	アーティストトーク 豊橋 6
	佐々木愛 （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名 土地固有の神話や物語から着想を得た油彩画やシュガードローイングで知られる佐々木愛が、自作について語ります。

9/17(土) 13:00-15:00	レクチャー 名古屋 3
	なぜものがそう見えるのか？ 視知覚のメカニズム スピーカー：小松英彦（生理学研究所教授）×副田一穂（愛知県美術館学芸員） 定員：60名 「見える」とは、脳の中で何が起こっているのか？ 我々にはありのままの世界が見えているのか？ など、視知覚のしくみに迫ります。

9/18(日) 14:00-16:00	シンポジウム 名古屋 4
	現代美術の保存と修復 パネリスト：天野太郎（横浜市民ギャラリーあぞみ野首席学芸員）、岡田温司（京都大学大学院教授）、田口かおり（修復士、日本学術振興会特別研究員） モデレーター：金井直（あいちトリエンナーレ2016国際展キュレーター） 定員：180名 協力：科学研究費（基盤研究A）「現代美術の保存と修復」 多様な素材・技術・アイデアによって日々生みだされる現代美術作品は、未来にどのように伝えられるべきでしょうか。保存修復の観点から考えます。

9/19(月・祝) 13:00-14:30	レクチャー 名古屋 3
	見えない粒子で宇宙をさぐるースーパーカミオカンデとニュートリノー スピーカー：毛利勝廣（名古屋科学館・プラネタリウム主任学芸員）×田中由紀子（あいちトリエンナーレ2016エデュケーター） 定員：60名 目には見えない光の粒を捉えることによって宇宙の何がわかるのか？ ニュートリノ研究の最前線から「見る」ことについて考えます。

9/22(木・祝) 14:00-15:30	アーティストトーク 岡崎 8
	野村在 （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） 定員：60名 共催：あいちトリエンナーレ2016岡崎会場実行委員会 彫刻あるいは写真を通して、作為と無作為の境界を探る野村在が、自作について語ります。

9/24(土) 10:30-12:30	フィールドワーク 名古屋 3
	長者町の「いま」と「むかし」を歩く 講師：ふるかはひでたか（美術家） 定員：15名 [要申込] 長者町のまち歩きを通して、過去と現在が交錯する時空間トリップを体験。いつものまちの風景から新たな発見があるかも。

9/24(土) 14:00-16:00	レクチャー 名古屋 3
	ものづくりとアートの接点 トヨタのDNAとデザイン 布垣直昭（トヨタ博物館館長）×田中由紀子（あいちトリエンナーレ2016エデュケーター） 定員：60名 アートとものづくりの接点としてのデザインを、トヨタの三河気質やあいちの歴史文化から考えます。

9/25(日) 11:00-13:00	レクチャー 名古屋 3
	ダンスは何に挑戦するのか？ スピーカー：石井達朗（舞踊評論家）×唐津絵理（あいちトリエンナーレ2016パフォーミングアートズキュレーター） 定員：60名 9/24(土)・25(日)にオアシス21で開催される「虹のカーニヴァル」にちなんで、20世紀後半から現在に至る新しいダンスーその創造力はどこにあるのかを考えます。

10/1(土) 14:00-18:00	シンポジウム 名古屋 1
	国際シンポジウム「文化・成熟・発酵」 パネリスト・ゲストの詳細は、あいちトリエンナーレ公式Webサイト [http://aichitriennale.jp/]（後日発表）をご覧ください。 定員：180名、日本語・英語（同時通訳あり） ある場所に文化が根付くとはどういうことか、世界の芸術祭などを参考に、またあいちの文化にも目を配りながら、2日間にわたって考えます。
10/2(日) 13:00-17:00	

10/7(金) 18:00-20:00	レクチャー 豊橋 5
	歌・声まね・ダンスによるコミュニケーションーヒトとトリの比較ー スピーカー：関義正（愛知大学准教授）×加藤慶（あいちトリエンナーレ2016国際展アシスタントキュレーター） 定員：40名 動物には珍しい「発声学習（声まね）」能力。これを手がかりにヒトとトリのコミュニケーションの共通点・相違点を考えます。

10/10(月・祝) 14:00-16:30	シンポジウム 名古屋 4
	メディア・アートとは何か？ IAMAS 20周年から考える パネリスト：久保田晃弘（多摩美術大学教授）、関口敦仁（愛知県立芸術大学教授）、三輪眞弘（IAMAS教授）、吉岡洋（京都大学こころの未来研究センター特定教授） モデレーター：松井茂（IAMAS准教授） 定員：180名 共催：IAMAS（情報科学芸術大学院大学） メディア文化の担い手の養成を目的に、1996年に開学したIAMAS。開学当初からIAMASに関わる面々が、メディア・アートの20年を総括します。

10/15(土) 10:30-12:30	フィールドワーク 岡崎 8
	岡崎の「いま」と「むかし」を歩く 講師：ふるかはひでたか（美術家） 定員：15名 [要申込] 岡崎のまち歩きをとおして、過去と現在が交錯する時空間トリップを体験。いつものまちの風景から新たな発見があるかも。

14:00-16:00	レクチャー 名古屋 2
	ゲームの何を保存する？ ゲームのアーカイブと芸術の哲学 講師：松永伸司（東京芸術大学教育研究助手） 定員：30名 何を集めて何を展示すればいいのか。ビデオゲームの収集保存や展示の前提となる収集対象の同一性や種類、範囲を、芸術作品の存在論の観点から整理します。

10/16(日) 10:30-12:00	アーティストトーク 岡崎 9
	関口涼子 （あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト） ＋フェリペ・リボン （写真家）× 港千尋 （あいちトリエンナーレ2016芸術監督） 定員：30名 共催：あいちトリエンナーレ2016岡崎会場実行委員会 あいち、世界各国の食材・調味料をもとに考案したキャラヴァンサライメニューを発表する関口涼子が、自作について語ります。